

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
小岩 泰輔

上伊那人権情報

令和5年
12月19日
第11号
職場揭示

支部ホームページ

上伊那支部

検索



上伊那人権教育学習会

11月9日(木)に上伊那人権教育学習会を開催しました。NPO 法人福祉工房オハナ理事長の城村義人さんを講師としてお招きしてご講演をいただきました。ご自身の養育里親の経験から、「自分を大切に、自分を愛することの大切さ」や「自分が必要とされていること」、「自分のありのままを受け入れられていること」を子どもたちが感じることの必要性についてお話をお聞きしました。参加者からは「話を内容が、目から鱗だった。」「実感のこもった話でもっと聞きたかった」という声が聞かれました。日々子どもたちと関わる中で大切なことを教えていただきました。



講師の城村義人さん

○参加者の感想より

- ・今の自分にできる最大限のことをすることが、子どもたちのためになると思いました。あなたを必要としていること、ありのままの自分が素晴らしいことをきちんと伝えて行きたいです。
- ・目の前の子どもに対してもう一歩進んだ愛を行動ができるのではないかと考えました。子どもが受け入れられる→受け入れる大人であることが大切だと思いました。
- ・城村さんのお話を聞いて、どんな子も受け入れ、愛そうと気持ちを新たにしました。そして、1人でも幸せな子どもを増やせる協力が出来たらと思いました。
- ・近くに子どもたちのことをこんなにも助け、愛してくれる方がいることを初めて知りました。辛い環境の中にいる子達をあれだけの大きな愛で包んでくださること、上伊那に安心できる場所を作っていただいていることに感動しました。心に刺さる内容を軽快に話していただき、とても聴きやすかったです。ありがとうございました。
- ・本当の人権とは何か考えることができました。「自分が愛されていないならば他人を愛することができない」という言葉が印象に残りました。

県教組 独自確定交渉

現場の切実な願いを込めて



交渉で発言する上伊那支部 田中書記長（上写真）と県本部 清水執行委員長（下写真）



11月13日(月)に県庁議会棟において、長野県教組が長野県教育委員会との独自確定交渉に臨みました。4年ぶりにすべての支部から組合員が県庁に集まり、総勢124名という大規模での交渉となりました。現場で働く先生方から、過酷な勤務実態の訴えや、業務改善を望む声が届けられ、10時間に及ぶ交渉の末、妥結しました。

交渉で引き出した前進回答

- ◆栄養教職員の妊娠時業務軽減加配を「検討する」
- ◆代替者確保のため「制度拡充を含め引き続き努力する」
- ◆教育課程研究協議会の研究は「勤務時間の範囲内で」と明記
- ◆会計年度任用職員の給料改善（4月にさかのぼって支給）
- ◆「正規率の引き上げ」「再任用ハーフの拡充」など口頭メモも前進